

注3

大学番号：私508

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 経営情報学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 加計学園
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 庶務部 庶務課

職名・氏名 オゴウ タケシ
小郷 剛司

電話番号 086-440-1111

（夜間） 086-440-1111

F A X 086-440-1015

e-mail t-ogou@hq.kusa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	P. 1 ~ P. 4
2. 授業科目の概要	P. 5 ~ P. 14
3. 施設・設備の整備状況, 経費	P. 15 ~ P. 16
4. 既設大学等の状況	P. 17 ~ P. 22
5. 教員組織の状況	P. 23 ~ P. 32
6. 留意事項に対する履行状況等	P. 33
7. その他全般的事項	P. 34 ~ P. 36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 加計学園

(2) 大学名

倉敷芸術科学大学

(3) 大学の位置

〒712-8505

岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カケ コウタロウ) 加計 晃太郎 (H13年1月)		
学長	(ソエダ タカシ) 添田 喬 (H17年4月)	(カラキ ヒデアキ) 唐木 英明 (H23年10月)	体調不良により退職 (24)
産業科学技術 学部長	(ナカシマ ミチオ) 中島 道夫 (H23年4月)	(コヤマ エツジ) 小山 悦司 (H24年9月)	体調不良による交代 (25)
経営情報 学科主任	(ゴトウ ユタカ) 後藤 裕 (H23年4月)	(ワタダニ シンゴ) 渡谷 真吾 (H23年10月) 経営情報学科長	体調不良により退職 (24) 職名変更(25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
産業科学技術学部 経営情報学科 学士(産業科学技術)	4年	50人	3年次 2人	200 204人	経営情報学科 平成24年6月收容定員変更届 出済(25) 3年次編入学定員 0→ 2名 收容定員 200→204名

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0.72倍	
志願者数	[]	[]	[63]	[]	[78]	[]	[42]	[]	[]	[]		
受験者数	[]	[]	[60]	[]	[78]	[]	[41]	[]	[]	[]		
合格者数	[]	[]	[55]	[]	[72]	[]	[40]	[]	[]	[]		
B 入学者数	[]	[]	[43]	[]	[44]	[]	[29]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A			0.71		0.88		0.58					

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] —	[-] —	[31] 43	[-] —	[20] 44	[-] —	[5] 29	[-] —	産業科学技術学部観光学科より転学科3年次(留学生1名)・3年次編入学生4名(内留学生3名)(25)
2年次	/		[-] —	[-] —	[27] 37	[-] —	[18] 41	[-] —	
3年次			[-] —	[-] —	[26] 37	[-] —			
4年次			[-] —	[-] —					
計			[-] —	[31] 43	[47] 81	[49] 107			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)	
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数			
平成22年度 入学者	人	0人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %	
			平成23年度	人	人			
			平成24年度	人	人			
			平成25年度	人	人			
平成23年度 入学者	44人	12人	平成23年度	7人	4人	除籍(2名)、経済的困難(1名)、学生個人の心 身に関する事情(1名)、就職(1名)、学業困難 (2名)	0.3 %	
			平成24年度	5人	5人			除籍(3名)、家庭の事情(1名)、他大学への入学 (1名)
			平成25年度	人	人			
平成24年度 入学者	43人	3人	平成24年度	3人	2人	家庭の事情(1名)、兵役義務(1名)、就業意欲の 低下(1名)	0.0697674 %	
			平成25年度	人	人			
平成25年度 入学者	29人	0人	平成25年度	人	人		0 %	
合 計	116人	15人					0.1 %	

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就業意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就業意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	哲学	1・2・3・4		2							兼 1	担当者退職のため今年度開講せず(24) 担当者追加(25) 担当 江原雅江(兼任)	
	文学	1・2・3・4		2							兼 1 兼 1		
	歴史学	1・2・3・4		2							兼 2		
	日本語表現	1・2・3・4		2							兼 1		
	宗教学	1・2・3・4		2							兼 1		
	社会と言語	1・2・3・4		2							兼 1		
	心理学	1・2・3・4		2							兼 1		
	社会学	1・2・3・4		2							兼 1		
	環境と社会	1・2・3・4		2		1							
	日本国憲法	1・2・3・4		2							兼 1		
	法学	1・2・3・4		2		1							
	経済学	1・2・3・4		2		1							
	物理学	1・2・3・4		2								兼 2	担当者変更(24) 担当 杉山宣彦(兼任)
	化学	1・2・3・4		2								兼 1	
	人間と環境	1・2・3・4		2								兼 1	
	地球科学	1・2・3・4		2								兼 2	
	数学	1・2・3・4		2		2						兼 2 兼 1	
	世界と日本	1・2・3・4		2								兼 1	担当者退職のため今年度開講せず(24) 担当者追加(25) 担当者 加納直子(兼任)
	アジアの政治文化	1・2・3・4		2								兼 1	
	マスコミ論	1・2・3・4		2								兼 1	
文章表現法	1・2・3・4		2								兼 1 兼 1		
人間の発達と形成	1・2・3・4		2								兼 1		
日本の伝統芸能	1・2・3・4		2								兼 1		
芸術と科学の協調	1 後 2 後 1 後		2								兼 3		
人生と仕事 I	1		2								兼 1		
人生と仕事 II	2		2								兼 1		
キャリア・ラーニング	3 前		2								兼 1 兼 3 兼 2		
キャリア・チャレンジ I	2 前		1		1						1 2 1 2	担当者追加(23) 担当 岡野喜良(教授) 時任英人(兼任) 大野英志(兼任) 津野熊総一郎(兼任) 担当者変更(24) 担当 水田直美(兼任) 担当者変更(25) 担当 中川重和(教授)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目	キャリア・チャレンジⅡ	2後		1		1						
	基本数学	1		2							兼 1	
	基本英語	1		2							兼 1	
	基本化学	1		2							兼 1	
	基本物理	1		2							兼 1	
	倉敷まちづくり基礎論	1後 1前		2		1					兼 1	教育効果を考慮して開講期を 変更 担当者変更(24) 担当 児島塊太郎(兼任)
	倉敷まちづくり実践論	1後		2		1					兼 1	担当者変更及び追加(23)
	まちづくりインターンシップ	2前		2		1					兼 2	担当 小出肇(兼任) 神田鉄平(兼任)
	動物入門(生き物を科学する)	1後		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(23) 担当 古川敏紀(兼任)
	医療入門(生き物を科学する)	1前		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 大野英治(兼任)
	演劇と芸術	1・2・3・4		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 森田亜紀(兼任)
	現代の美術	1・2・3・4		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 濱坂渉(兼任) 担当者追加(25) 担当 松村麻太(兼任)
	教養概論Ⅰ	1・2・3・4		1		1					兼 9	教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当者 家住 利男(兼任) 大林 誠(兼任) 近藤 研二(兼任) 濱家 輝雄(兼任) 奥本 寛(兼任) 浅川 富美雪(兼任) 古川 敏紀(兼任) 大野 英治(兼任) 内藤 整(兼任)
	教養概論Ⅱ	1・2・3・4		1		1					兼 9	教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当者 家住 利男(兼任) 大林 誠(兼任) 近藤 研二(兼任) 濱家 輝雄(兼任) 奥本 寛(兼任) 浅川 富美雪(兼任) 古川 敏紀(兼任) 大野 英治(兼任) 内藤 整(兼任)
教養概論Ⅲ	1・2・3・4		2		1					兼 9	教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当者 家住 利男(兼任) 大林 誠(兼任) 近藤 研二(兼任) 濱家 輝雄(兼任) 奥本 寛(兼任) 浅川 富美雪(兼任) 古川 敏紀(兼任) 大野 英治(兼任) 内藤 整(兼任)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合	教養概論Ⅳ	1・2・3・4		2		1					兼 9	教育課程充実の理由により、科目を追加(25) 担当者 家住 利男(兼担) 大林 誠(兼担) 近藤 研二(兼担) 濱家 輝雄(兼担) 奥本 寛(兼担) 浅川 富美雪(兼担) 古川 敏紀(兼担) 大野 英治(兼担) 内藤 整(兼担)
	英語Ⅰ 英語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	1前 1後 1前 1後	2 2			1 1					兼 4 兼 4 兼 1 兼 1	
外国語	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	1前 1後 1前 1後		2 2 2 2		1 1					兼 1 兼 2 兼 2 兼 1 兼 1 兼 1	担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者調整(23)
	ハンゲルⅠ ハンゲルⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	1前 1後 1前 1後		2 2 2 2							兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 河智弘(兼任) 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 河智弘(兼任) 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 太田陽子(兼任) 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 太田陽子(兼任)
	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ	1前 1後 1前 1後 1前 1後	2 2 2 2 2 2								兼 2 兼 2 兼 2 兼 2 兼 2 兼 2	担当者変更(25) 担当者 桑原直子(兼任) 担当者変更(25) 担当者 桑原直子(兼任) 担当者変更(25) 担当者 桑原直子(兼任) 担当者変更(25) 担当者 桑原直子(兼任)
	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	1 1前 1後		2 2 2							兼 4 兼 3 兼 4 兼 4	担当者退職(23) 担当者追加(24) 担当者 飯田智行(兼担) 担当者体調不良により 担当者変更(23) 担当 高原皓全(兼任) 担当者変更(24) 担当者 経遠雄三(兼担) 久米大祐(兼任) 担当者変更(25) 担当者 石田博也(兼任) 担当者変更(24) 担当者 久米大祐(兼任) 担当者変更(25) 担当者 石田博也(兼任)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	経営学概論	1前	2			1					兼1	担当者退職のため担当教員変更(24) 担当 紀本明宏	
	簿記論	1後	2				1				兼1	担当者の学園内異動のため担当教員変更(24) 担当 堤一浩(兼任)	
	簿記論演習	2前		2			1				兼1	担当者の学園内異動のため担当教員変更(24) 担当 堤一浩(兼任)	
	経済学原論Ⅰ(マクロ)	2前	2			1							
	経済学原論Ⅱ(ミクロ)	2後		2		1							
	民法総論	1前	2			1							
	商法総論	1後	2			1							
	政治学史	3前		2								兼1	教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
	国際政治学	3前		2								兼1	教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
	海外事情Ⅰ(アジア1)	1後		2								兼1	科目統合のため廃止(24) 教育課程充実のため、科目
	国際地域論Ⅰ(日本)	1後		2								兼1	を追加(24) 担当 時任英人(兼任)
	海外事情Ⅱ(アジア2)	2前		2								兼1	科目の充実を図るため、科目名称を変更(24)
	国際地域論Ⅱ(アジア)	2前		2								兼1	科目の充実を図るため、科目名称及び担当者を変更(24)
	海外事情Ⅲ(ヨーロッパ)	2後		2		1						兼1	担当 渡辺肇(教授)
	国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ)	2後		2		1						兼1	科目の充実を図るため、科目名称を変更(24)
	海外事情Ⅳ(アメリカ)	3前		2								兼1	科目の充実を図るため、科目名称を変更(24)
	国際地域論Ⅳ(アメリカ)	3前		2								兼1	科目の充実を図るため、科目名称を変更(24)
	ビジネスと宗教	2後		2								兼1	教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
	西洋思想概論	1後		2								兼1	教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
	東洋思想概論	2前		2								兼1	教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
	共通科目	岡山ビジネス研究	2後		2		1						担当者追加(24) 担当 塩飽直紀(教授)
		コンピュータリテラシ	1前	2			1						
		コンピュータ基礎	1前		2		1						
情報システム基礎		1後	2			1							
情報ネットワーク概論		1後		2		1					兼1	担当者追加(24) 担当 馬場始三(兼任)	
情報社会とモラル		2前		2		1							
情報と職業		2後		2		1							
知的財産権		3後		2							兼1		
入門統計学		2前		2		1							
統計解析の基礎	2後		2		1								
企業経営コース及び危機管理コース	企業経営論	3前		2		1						教育課程に危機管理コースを新設するため、企業経営コース及び危機管理コースに変更(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	企業経営コース 会社法	2前		2		1						教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24)
	企業経営コース及びMBA取得留学コース 人事経営論	3後		2		1						企業経営コース及びMBA取得留学コースに変更及び担当者変更(24)
	企業経営コース及び危機管理コース 経営と倫理	2前		2		1						教育課程に危機管理コースを新設するため、企業経営コース及び危機管理コースに変更及び担当者変更(24) 担当 岡野喜良(教授) 担当者変更(25) 担当 安東官(兼任)
	企業経営コース 経営戦略論	2前		2							兼 1	教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更及び担当者変更(24) 担当 紀本明宏(兼任)
	企業経営コース アジアビジネス経営論 金融論	1後 2前		2 2		1 1						教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24) 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24)
企業経営コース及び危機管理コース 経営資金調達論	2後		2		1						教育課程に危機管理コースを新設するため、企業経営コース及び危機管理コースに変更及び担当者変更(24) 担当 渡辺肇(教授)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	地域金融産業論	2前		2								兼 1 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24) 教育効果を考慮し配当年次の変更及び科目区分を共通科目へ変更(24) 教育効果を考慮し配当年次、開講期の変更及び科目区分を共通科目へ変更及び担当者退職により担当者(24) 担当 裾分守(兼任)
	投資銀行実務入門	3前 2前		2		1						
	金融実務論	3前 2後		2		1					兼 1	
	金融実務特論	3前 2前		2		1					兼 1	
	証券外務員論	3前		2		1						兼 1 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更及び担当者退職により担当者未定(24) 担当 二階堂一比古(非)
	サービス産業論	1前		2								兼 1 教育課程充実のため、科目を追加(24) 担当 岡本直樹(兼任)
	消費者行動論	3後		2								兼 1 教育課程充実のため、科目を追加(24) 担当 岡本直樹(兼任)
	情報システムコース	プログラミング基礎 アルゴリズム 経営情報学実験Ⅰ 経営情報学実験Ⅱ	1後 2前 2後 3前		2 2 1 1		1 1 1 1					
	情報システムコース及び危機管理コース	経営情報学実験Ⅲ	3後		1		1					
	情報システムコース	コンピュータグラフィックス実習 情報デザイン概論 ユニバーサルデザイン論 認知科学概論 データベース 情報ネットワーク	2前 2後 2前 3前 3前 2後 2前		1 2 2 2 2 2		1 1 1					兼 1 兼 1 兼 1 教育効果を考慮して開講期を変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	情報システムコース及び危機管理コース	2後		2		1							
	旅行危機管理概論	1後		2							兼1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 芦田雅子(兼任)	
	インターネット旅行情報概論	2後		2							兼1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 中島道夫(兼任)	
	放送概論	1前		2							兼1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 濱家輝雄(兼任)	
	リスクマネジメント	3前		2							兼1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 未定	
	保険論	3後		2							兼1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 未定	
	企業経営コース及びMBA取得留学コース	MBA アカウンティング入門	2前		2			1				兼1	担当者の学園内異動のため 担当教員変更(24) 担当 堤一浩(兼任)
	MBA リーダーシップ入門	3前		2			1					兼1	担当者退職のため役職の変更(24) 担当 後藤裕(兼任)
	MBA マーケティング入門	3前		2			1					兼1	担当者退職のため役職の変更(24) 担当 後藤裕(兼任)
	MBA ファイナンス入門	2前		2			1					兼1	担当者の学園内異動のため 担当教員変更(24) 担当 堤一浩(兼任) 担当者変更(25) 担当 安東 官(兼任)
	ビジネス法 I	3前		2			1						
	ビジネス法 II (国際法を含む)	3後		2			1						
	MBA取得留学コース	社会調査概論	2前		2		1					兼1	教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24)
	調査と計画	2後		2			1					兼1	教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24)
	社会調査実習	3後		2			1					兼1	教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24)
データ解析	3前		2			1					兼1	教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24)	
ビジネス英語	2後		2								兼1	教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更及び担当者変更(24) 担当 紀本明宏(兼任)	
MBA英語特論 I	4前		8			1							
MBA英語特論 II	4後		8			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	関連科目	実践日本語	1前	2							兼	1
		ビジネス日本語	2前	2							兼	1
		日本語演習Ⅰ	1前	2							兼	1
		日本語演習Ⅱ	1後	2							兼	1
		観光社会学	2後	2							兼	1
		芸術文化論	2前	2							兼	1
		日本美術史	1後	2							兼	1
		西洋美術史Ⅰ	2前	2							兼	1
		西洋美術史Ⅱ	2後	2							兼	1
		日本近代美術史	3前	2							兼	1
		文化財学概論	3後	2							兼	1
		デザイン史	3前	2							兼	1
		インターンシップ	1後	8			1					
インターンシップ概論	1後	4			1							
プロジェクト実習Ⅰ	2後	1			3							
プロジェクト実習Ⅱ	3後	1			3							
プロジェクト実習Ⅲ	4後	1			3							
専攻科目	関連科目	ITパスポート特論	1・2・3・4	2		5						教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
		基本情報技術者特論	1・2・3・4	2		5						教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
		ITスペシャリスト特論	1・2・3・4	2		5						教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24)
専攻科目	ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	4		18 14 13	1					担当者の早期退職及び学園内の大学間異動により担当者数減(24) 担当者の定年退職により担当者数減(25)
		ゼミナールⅡ	2通	4		18 14 13	1					担当者の早期退職及び学園内の大学間異動により担当者数減(24) 担当者の定年退職により担当者数減(25)
		ゼミナールⅢ	3通	4		16 12	1					担当者の早期退職及び学園内の大学間異動により担当者数減(24)
		卒業研究	4通	8		12	1					学園内の大学間異動により担当者数減(24)

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 19	科目 122	科目	科目 141	科目 19	科目 123 137 141	科目	科目 142 156 160	
				[]	[+ 1]	[]	[+ 1]	
				[]	[+ 15]	[]	[+ 15]	
				[]	[+19]	[]	[+19]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	海外事情Ⅰ（アジアⅠ）	2	1後	専門	選択	平成23年度入学生のカリキュラムから廃止とし、2年次以上の在學生に対しては、同学部の観光学科にて開講してる科目を履修するよう指導する。代替科目として平成23年度入學生には「国際地域論Ⅱ（アジア）」を2年次に開講する。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 海外諸事情Ⅰ（アジアⅠ）について、科目統合を目的とした廃止とし、新たに海外諸事情Ⅱ（アジアⅡ）を国際地域論Ⅱ（アジア）と科目名称を変更して教育の充実を図る。</p> <p>【学生への周知方法】 選択科目につき、卒業までに履修できるよう開講すること（同学部観光学科において開講）で、学生への影響はないと思われる。オリエンテーション、シラバス、授業時間割等で廃止等の科目を周知している。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校の 廃止に伴う、校舎敷 地の移管のため。(25)			
	校舎敷地	133,308.98㎡ 135,599.71㎡	㎡	㎡	133,308.98㎡ 135,599.71㎡				
	運動場用地	85,876.00㎡	㎡	㎡	85,876.00㎡				
	小 計	219,184.98㎡ 221,475.71㎡	㎡	㎡	219,184.98㎡ 221,475.71㎡				
	そ の 他	28,483.00㎡	㎡	㎡	28,483.00㎡				
	合 計	247,667.98㎡ 249,958.71㎡	㎡	㎡	247,667.98㎡ 249,958.71㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	11号館トイレ増築(24) 隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校の 廃止に伴う、校舎の 移管のため。(25)				
	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,115.60㎡	㎡	㎡	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,115.60㎡					
	(44,259.54㎡) (44,274.06㎡) (46,115.60㎡)	(㎡)	(㎡)	(44,259.54㎡) (44,274.06㎡) (46,115.60㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体(22) 当該学科所属(23)			
	3-2室 0	2-8室 12	9-3室 6	10室 0 (補助職員 0人)	1室 0 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成24年4月 早期退職3名、定年退職 1名、大学間異動1名 (24)			
	産業科学技術学部 経営情報学科		19 14 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	追加購入及び管理変更 のため(23) 追加購入及び管理変更 のため(24) 追加購入及び管理変更 のため(25)	
	経営情報学科	14,246 [2,902] (14,246 [2,902]) (19,997 [3,733]) (20,761 [3,778]) (21,528 [3,800])	88 [33] (88 [33]) (90 [33]) (80 [30])	8 [8] (8 [8]) (9 [9])	157 (157) (181) (182)	8,282 (8,282) (5,976) (4,161) (3,870)	0 (0)		
	計	14,246 [2,902] (14,246 [2,902]) (19,997 [3,733]) (20,761 [3,778]) (21,528 [3,800])	88 [33] (88 [33]) (90 [33]) (80 [30])	8 [8] (8 [8]) (9 [9])	157 (157) (181) (182)	8,282 (8,282) (5,976) (4,161) (3,870)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	㎡								
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等については、見込を誤ったため。また、図書費、設備購入費については、購入物品を変更したため(24)
		教員1人当り研究費等	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	図書購入費	800千円	200千円 148千円	400千円	
		共同研究費等	2,000千円 3,362千円	2,000千円	設備購入費	2,800千円	700千円 1,505千円	1,400千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,298千円	第2年次 1,078千円	第3年次 1,078千円	第4年次 1,078千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学等経常費補助金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	倉敷芸術科学大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院 (芸術研究科)								岡山県倉敷市 連島町西之浦	平成17年度より芸術学部工芸・デザイン学科より10名を生命科学部健康科学科へ振替。産業科学技術学部(通信教育課程)を募集停止。起業学科(通信教育課程)を募集停止。	
美術専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.50	平成11年度	2640番地		
工芸専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.20	平成11年度			
芸術研究科修士課程 計						0.35				
芸術制作表現専攻 博士(後期)課程	3	4	—	12	博士(芸術)	1.00	平成13年度			
芸術研究科博士課程 計						1.00				
(産業科学技術研究科)										平成18年度より産業科学技術学部コンピュータ情報学科より30名、生命科学部より10名を振替。生命科学部に生命動物科学科を設置し、健康科学科10名増。
計算機科学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	0.18	平成11年度			
機能物質化学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	0.81	平成11年度			
産業科学技術研究科修士課程 計						0.49				
計算機科学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	平成13年度			
機能物質化学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.66	平成13年度			
産業科学技術研究科博士課程 計						0.41				
(人間文化研究科)								平成19年度より芸術学部工芸・デザイン学科より10名、起業学科より10名を生命動物科学科に振替。		
人間文化専攻修士課程	2	15	—	30	修士(学術)	0.29	平成11年度			
人間文化研究科 計						0.29				
大学院(通信制) (芸術研究科)									平成20年度より芸術学部美術学科、工芸・デザイン学科を募集停止し、芸術学部美術工芸学科、デザイン学科を設置。産業科学技術学部観光学科を設置。コンピュータ情報学科は、IT科学科に名称変更。起業学科は、起業経営学科に名称変更。生命科学部に生命医科学科を設置。生命科学科より、10名を観光科学科編入学3年次8名増。	
美術専攻(通信制)修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.05	平成14年度			
芸術研究科 計						0.05				
(産業科学技術研究科)										
機能物質化学専攻(通信制)修士課程	2	20	—	40	修士(産業科学技術)	0.00	平成14年度			
産業科学技術研究科 計						0.00				
(人間文化研究科)										
人間文化専攻(通信制)修士課程	2	30	—	60	修士(学術)	0.08	平成14年度			
人間文化研究科 計						0.08				

大学の名称	倉敷芸術科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学 (芸術学部)								岡山県倉敷市 連島町西之浦 2640番地	平成21年度より芸術学部美術工芸学科より5名を生命動物科学科へ振替。芸術学部デザイン学科より5名を生命医科学科へ振替。 産業科学技術学部 I T 科学科より5名を生命医科学科へ振替。産業科学技術学部 I T 科学科より5名を観光学科へ振替。 産業科学技術学部コンピュータ情報学科(通信教育課程)は、I T 科学科(通信教育課程)に名称変更。 平成23年度より産業科学技術学部 I T 科学科、起業経営学科を募集停止し、産業科学技術学部経営情報学科を設置。 生命科学部健康科学科より5名を振替、25名純増し健康医療学科を設置。 平成24年度より産業科学技術学部経営情報学科より5名をメディア映像学科へ振替。産業科学技術学部経営情報学科より5名を生命医科学科へ振替。 平成25年度より生命科学部生命動物学科の3年次編入学定員8名を、芸術学部メディア映像学科、産業科学技術学部観光学科、経営情報学科へ3年次編入学定員2名ずつ振替。
美術学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成7年度		
工芸・デザイン学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成7年度		
美術工芸学科	4	35	—	140	学士(芸術)	0.62	平成20年度		
			3年次						
メディア映像学科	4	35	2	144	学士(芸術)	1.33	平成14年度		
デザイン学科	4	35	—	140	学士(芸術)	0.99	平成20年度		
芸術学部 計						0.96			
(産業科学技術学部)									
I T 科学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成7年度		
起業経営学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成16年度		
			3年次						
観光学科	4	45	2	184	学士(産業科学技術)	0.66	平成20年度		
			3年次						
経営情報学科	4	50	2	204	学士(産業科学技術)	0.72	平成23年度		
産業科学技術学部 計						0.69			
生命科学部									
生命科学科	4	45	—	180	学士(生命科学)	1.12	平成16年度		
健康科学科	4	55	—	220	学士(健康科学)	1.07	平成16年度		
			3年次						
生命動物科学科	4	65	2	264	学士(生命科学)	1.08	平成18年度		
生命医科学科	4	50	—	200	学士(生命科学)	1.16	平成20年度		
健康医療学科	4	30	—	120	学士(健康科学)	0.53	平成23年度		
生命科学部 計						1.05			
学部(通信教育課程) (産業科学技術学部)			2年次						
I T 科学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成16年度		
			3年次						

大学の名称	岡山理科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 年 設 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院								岡山県岡山市北区	
理学研究科修士課程						0.65		理大町1番1号	・名称変更
応用数学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（理学）	0.41	昭和55年度		平成17年度より工学
化学専攻修士課程	2	16	—	32	修士（理学）	0.65	昭和49年度		研究科機械工学専攻→
応用物理学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	0.57	昭和49年度		機械システム工学専攻
総合理学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.33	昭和63年度		
生物化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	1.07	平成4年度		
臨床生命科学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.49	平成20年度		
動物学専攻修士課程	2	4	—	8	修士（理学）	1.37	平成24年度		
理学研究科博士課程（後期）						0.15			平成20年度より、
応用数学専攻	3	4	—	12	博士（理学）	0.00	昭和62年度		理学研究科臨床生命科
博士課程（後期）									学専攻を設置。
材質理学専攻	3	9	—	27	博士（理学）	0.22	昭和53年度		
博士課程（後期）									平成21年度より、
工学研究科修士課程						0.45			工学研究科福祉システム
応用化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（工学）	0.34	平成2年度		工学専攻を募集停止し
機械システム工学専攻	2	13	—	26	修士（工学）	0.26	平成2年度		知能機械工工学専攻
修士課程									を設置。
電子工学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.62	平成2年度		平成23年度より、
情報工学専攻修士課程	2	10	—	20	修士（工学）	0.35	平成8年度		工学研究科生体医工学
知能機械工学専攻	2	8	—	16	修士（工学）	0.87	平成21年度		専攻、建築学専攻を設
修士課程									置。
生体医工学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（工学）	0.58	平成23年度		
建築学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.37	平成23年度		
工学研究科博士課程（後期）						0.33			
システム科学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.33	平成2年度		
博士課程（後期）									
総合情報研究科修士課程						0.57			
情報科学専攻修士課程	2	7	—	14	修士（総合情報）	0.85	平成13年度		平成24年度より、
シミュレーション科学	2	—	—	—	修士（総合情報）	—	平成13年度		理学研究科動物学専攻
専攻修士課程									を設置。
生物地球システム専攻	2	7	—	14	修士（総合情報）	0.56	平成13年度		
修士課程									
社会情報専攻修士課程	2	6	—	12	修士（総合情報）	0.24	平成13年度		
総合情報研究科博士課程（後期）						0.33			
数理・環境システム専攻	3	2	—	6	博士（学術）	0.33	平成15年度		
博士課程（後期）									

大学の名称	岡山理科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 年 設 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
学部									
理学部						1.22		岡山県岡山市北区 理大町1番1号	
応用数学科	4	95	—	370	学士（理学）	1.27			・名称変更
化学科	4	70	—	285	学士（理学）	1.21			平成18年度より、
応用物理学科	4				学士（理学）	1.05			応用化学科応用化学専
物理科学専攻	4	30	—	120	学士（理学）				攻、生物・環境化学専
医用科学専攻	4	40	—	160	学士（理学）				攻→バ・材・応用化学科
基礎理学科	4	75	—	300	学士（理学）	1.26			
生物化学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.25			
臨床生命科学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.27			
動物学科	4	40	—	160	学士（理学）	1.23			
工学部						1.14			
バイオ・応用化学科	4	75	—	300	学士（工学）	1.26			
機械システム工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.24			
電気電子システム学科	4	70	—	280	学士（工学）	1.11			
情報工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.24			
知能機械工学科	4	55	—	225	学士（工学）	0.95			平成19年度より、
生体医工学科	4	60	—	240	学士（工学）	0.91			工学部生体医工学科、
建築学科	4	70	3年次 5	215	学士（工学）	1.12			総合情報学部建築学科 を設置。
総合情報学部						1.16			・名称変更
情報科学科	4	80	—	320	学士（総合情報学）	1.15			平成19年度より、
コンピュータシミュレーション学科	4	—	—	—	学士（総合情報学）	—			工学部電子工学科→
生物地球システム学科	4	—	—	—	学士（総合情報学）	—			→電気・電子システム学科
社会情報学科	4	80	—	310	学士（総合情報学）	1.21			
建築学科	4		3年次 —	—	学士（総合情報学）	—			平成20年度より、 理学部動物学科を 設置。
生物地球学部						1.19			
生物地球学科	4	100	—	200	学士（理学）	1.19			
(理学専攻科)									
応用数学専攻	1	5	—	5		0.00			平成23年度より、
化学専攻	1	5	—	5		0.00			総合情報学部建築学科 を募集停止し、工学部
応用化学専攻	1	5	—	5		0.00			建築学科を設置。
応用物理学専攻	1	5	—	5		0.00			
機械理学専攻	1	5	—	5		0.00			平成24年度より
電子理学専攻	1	5	—	5		0.00			総合情報学部生物地球 システム学科（70名）を募 集停止し、定員を30名 純増した生物地球学部 生物地球学科（100名） を設置。
教職特別課程	1	50	—	50		0.30			

大学の名称	千葉科学大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
大学院 薬学研究科 薬学専攻 博士課程	4	3	-	6	博士（薬学）	0.16		平成24年度	千葉県銚子市潮見町3番地	平成18年度より薬学部薬学科を6年制課程へ移行し、薬学部薬科学科を設置。 平成20年度より薬学部動物生命薬科学科を設置。
薬科学専攻 修士課程	2	10	-	20	修士（薬科学）	0.33		平成22年度		
博士課程（後期）	3	5	-	15	博士（薬科学）	0.20		平成22年度		
危機管理学研究科 危機管理学専攻 修士課程	2	5		10	修士（危機管理学）	0.46		平成20年度		
博士課程（後期）	3	3		9	博士（危機管理学）	0.60		平成22年度		
大学 薬学部 薬学科	6	120	4年次 10	840	学士（薬学）	0.74		平成18年度		
生命薬科学科	4	40	-	180	学士（生命薬科学）	0.53		平成22年度	平成21年度より危機管理学部防災システム学科及び環境安全システム学科を募集停止し、動物・環境システム学科、医療危機管理学科を設置。	
危機管理学部 危機管理システム学科	4	100	-	410	学士（危機管理）	0.94		平成16年度		
動物・環境システム学科	4	-	-	-	学士（危機管理）	-		平成21年度		
環境危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.86		平成24年度		
医療危機管理学科	4	80	-	330	学士（危機管理）	1.17		平成21年度		
工学技術危機管理学科	4	40	-	170	学士（危機管理）	0.31		平成22年度		
動物危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.78		平成24年度		
										平成22年度より旧4年制薬学課程を基礎とする大学院薬科学研究科薬科学専攻修士課程を募集停止し、新たに新4年制薬学課程を基礎とする同薬科学研究科薬科学専攻修士課程を設置。

大学の名称	千葉科学大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 年 設 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
									<p>平成22年度より大学院薬科学研究科薬科学専攻博士課程（後期）及び同危機管理学部危機管理学専攻博士課程（後期）を設置。</p> <p>平成24年度より危機管理学部動物・環境システム学科を募集停止し、新たに危機管理学部環境危機管理学科及び動物危機管理学科を設置。 危機管理学部危機管理システム学科、医療危機管理学科3年次編入学を平成26年をもって募集停止。</p> <p>平成24年度より大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更し、大学院薬学研究科薬学専攻博士課程を設置。</p> <p>平成22年度より薬学部生命薬科学科の入学定員を50名から40名へ変更。</p> <p>平成25年度より危機管理学部航空・輸送安全学科を工学技術危機管理学科に名称変更。</p>

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	藤原 敏勝 (70)	平成23年4月	ゼミナールⅠ	専任	教授	藤原 敏勝 (70)	平成23年4月	ゼミナールⅠ	藤原教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24)
専任	教授	尾高 好政 (67)	平成23年4月	社会調査概論 調査と計画 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	尾高 好政 (69)	平成23年4月	社会調査概論 調査と計画 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	
専任	教授	渡辺 守 (65)	平成23年4月	数学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任 兼任	教授 講師	渡辺 守 (67)	平成23年4月 平成24年4月	数学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	渡辺教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24) 担当者調整(25)
専任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	中本教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24)
					兼任	准教授	水田 直美 (47)	平成24年4月	キャリア・ラーニング	
					兼任	講師	岡本 宏 (61)	平成24年4月	数学	
専	教授	小川 聡 (63)	平成23年4月	情報社会とモラル 経営情報学実験Ⅰ コンピュータグラフィックス実習 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専	教授	小川 聡 (65)	平成23年4月	情報社会とモラル 経営情報学実験Ⅰ コンピュータグラフィックス実習 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	小山 悦司 (58)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	小山 悦司 (60)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
					兼任	教授	小出 肇 (58)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	
					兼任	准教授	神田 鉄平 (33)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	中川 重和 (47)	平成23年4月	社会調査実習 データ解析 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	中川 重和 (49)	平成23年4月	社会調査実習 データ解析 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 キャリア・ラーニング	担当科目追加(25)
専任	教授	Pradhan Sujeet (46)	平成23年4月	情報システム基礎 アルゴリズム 経営情報学実験Ⅱ データベース ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	Pradhan Sujeet (48)	平成23年4月	情報システム基礎 アルゴリズム 経営情報学実験Ⅱ データベース ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	小林 和真 (45)	平成23年4月	情報ネットワーク概論 情報と職業 経営情報学実験Ⅲ 情報セキュリティ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	小林 和真 (47)	平成23年4月	情報ネットワーク概論 情報と職業 経営情報学実験Ⅲ 情報セキュリティ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	村山 公保 (43)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎 情報ネットワーク プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	村山 公保 (45)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎 情報ネットワーク プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	足立 邦夫 (69)	平成23年4月	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	専任	教授	足立 邦夫 (70)	平成23年4月	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	足立教授退職 複数の学科専任教員が担当者 であるため教育上影響はない (25)
専任	教授	植木 利彦 (68)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	植木 利彦 (70)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授	塩飽 直紀 (67)	平成23年4月	環境と社会 経済学原論Ⅰ(マクロ) 経済学原論Ⅱ(ミクロ) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	塩飽 直紀 (69)	平成23年4月	環境と社会 経済学原論Ⅰ(マクロ) 経済学原論Ⅱ(ミクロ) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 岡山ビジネス研究	担当科目追加(24)	
専任	教授	渡辺 肇 (67)	平成23年4月	経済学 金融論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	渡辺 肇 (69)	平成23年4月	経済学 金融論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 国際地域論Ⅲ (ヨーロッパ) 経営資金調達論	担当科目追加(24) 後藤教授退職のため平成24年度より担当科目追加(24)	
専任	教授	後藤 裕 (65)	平成23年4月	経営学概論 経営と倫理 経営資金調達論 投資銀行実務入門 金融実務論 金融実務特論 証券外務員論 MBAリーダーシップ入門 MBAマーケティング入門 MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	後藤 裕 (67)	平成23年4月 平成24年4月	経営学概論 経営と倫理 経営資金調達論 投資銀行実務入門 金融実務論 金融実務特論 証券外務員論 MBAリーダーシップ入門 MBAマーケティング入門 MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	後藤教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24)	
					兼任	講師	紀本 明宏 (69)	平成24年4月	経営学概論		後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					専任	教授	岡野 喜良 (65)	平成24年4月	経営と倫理		後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					専任	教授	渡辺 肇 (69)	平成24年4月	経営資金調達論		後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					兼任	講師	裾分 守 (62)	平成24年4月	金融実務論		後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					兼任	講師	二階堂一比古 (64)	平成24年4月	金融実務特論		後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
							後任未定		証券外務員論		平成24年3月 後藤教授退職のため担当教員を選考中(24)
					専任	教授	渡谷 真吾 (49)	平成24年4月	MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論		後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
専任	教授	岡野 喜良 (63)	平成23年4月	岡山ビジネス研究 企業経営論 人事経営論 アジアビジネス経営論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	岡野 喜良 (65)	平成23年4月	岡山ビジネス研究 企業経営論 人事経営論 アジアビジネス経営論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 キャリア・ラーニング 経営と倫理	担当科目追加(23) 後藤教授退職のため平成24年度より担当科目追加(24)	
					兼任	講師	安東 官 (60)	平成25年4月	経営と倫理	担当者変更(25)	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	河野 正英 (48)	平成23年4月	法学 民法総論 商法総論 会社法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ(国際法を含む) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	河野 正英 (50)	平成23年4月	法学 民法総論 商法総論 会社法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ(国際法を含む) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	渡谷 真吾 (47)	平成23年4月	コンピュータリテラシ 入門統計学 統計解析の基礎 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	渡谷 真吾 (49)	平成23年4月	コンピュータリテラシ 入門統計学 統計解析の基礎 MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	後藤教授退職のため平成24年度より担当科目追加(24) 教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
専任	准教授	八角 憲男 (59)	平成23年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウンティング入門 MBAファイナンス入門 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	准教授	八角 憲男 (59)	平成23年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウンティング入門 MBAファイナンス入門 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	八角准退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24)
					兼任	講師	堤 一浩 (69)	平成24年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウンティング入門 MBAファイナンス入門	八角准教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					兼任	講師	安東 官 (60)	平成25年4月	MBAファイナンス入門	担当者変更(25)
兼任	教授	森田 亜紀 (56)	平成23年4月	芸術文化論	兼任	教授	森田 亜紀 (58)	平成23年4月	芸術文化論 演劇と芸術	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)
兼任	教授	平野 重光 (71)	平成23年4月	日本美術史	兼任	教授	平野 重光 (71)	平成20年4月	日本美術史	平野教授退職のため平成23年度より担当者の変更(23)
					兼任	教授	神原 正明 (61)	平成20年4月	日本美術史	
兼任	教授	神原 正明 (59)	平成23年4月	西洋美術史Ⅰ	兼任	教授	神原 正明 (61)	平成23年4月	西洋美術史Ⅰ 日本美術史	担当科目追加(23)
兼任	教授	松岡 智子 (51)	平成23年4月	西洋美術史Ⅱ 近代日本美術史	兼任	教授	松岡 智子 (53)	平成23年4月	西洋美術史Ⅱ 近代日本美術史	

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	教授	山崎 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	兼任	教授	山崎 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	山崎教授退職 「後任未定」平成24年度は開講せず(24) 担当者追加(25) 山崎教授退職 複数の教員が担当者であるため教育上影響はない(24) 担当者追加(25)	
					兼任	准教授	江原 雅江 (43)	平成25年4月	文学		担当科目追加(25)
					兼任	講師	加納 直子 (40)	平成25年4月	文章表現法		担当科目追加(25)
兼任	教授	近藤 研二 (58)	平成23年4月	情報デザイン概論 デザイン史	兼任	教授	近藤 研二 (60)	平成23年4月	情報デザイン概論 デザイン史 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)	
兼任	教授	鈴木 まどか (65)	平成23年4月	歴史学 文化財学概論	兼任	教授	鈴木 まどか (67)	平成23年4月	歴史学 文化財学概論		
兼任	教授	濱坂 渉 (59)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	濱坂 渉 (61)	平成23年4月	芸術と科学の協調 現代の美術	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)	
					兼任	講師	松村 麻太 (42)	平成25年4月	現代の美術		担当者追加(25)
兼任	教授	Caspar SCHWABE (57)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	兼任	教授	Caspar SCHWABE (59)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論		
兼任	教授	時任 英人 (60)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 政治学史 国際政治学	兼任	教授	時任 英人 (62)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 政治学史 国際政治学 キャリア・ラーニング 国際地域論Ⅰ(日本)	担当科目追加(23) 教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)	
兼任	教授	西川 高史 (59)	平成23年4月	哲学 宗教学 ビジネスと宗教 東洋思想概論	兼任	教授	西川 高史 (61)	平成23年4月	哲学 宗教学 ビジネスと宗教 東洋思想概論		
兼任	教授	中島 道夫 (60)	平成23年4月	芸術と科学の協調 認知科学概論	兼任	教授	中島 道夫 (62)	平成23年4月	芸術と科学の協調 認知科学概論 インターネット 旅行情報概論	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)	
兼任	教授	藤高 邦宏 (67)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	教授	藤高 邦宏 (69)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	担当科目追加(23)	
兼任	教授	趙 慧欣 (52)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ビジネス日本語	兼任	教授	趙 慧欣 (54)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ビジネス日本語		
兼任	教授	赤木 恒雄 (58)	平成23年4月	人間の発達と形成	兼任	教授	赤木 恒雄 (60)	平成23年4月	人間の発達と形成		
兼任	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	担当教員追加(23)	
					兼任	准教授	加藤 敬史 (45)	平成23年4月	芸術と科学の協調		
兼任	教授	妹尾 護 (58)	平成23年4月	地球科学	兼任	教授	妹尾 護 (60)	平成23年4月	地球科学		

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	内藤 整 (45)	平成23年4月	人間と環境	兼任	教授	内藤 整 (47)	平成23年4月	人間と環境 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
兼任	教授	唐川 千秋 (50)	平成23年4月	心理学	兼任	教授	唐川 千秋 (52)	平成23年4月	心理学	
兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学	兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学	
					兼任	講師	杉山 宣彦 (61)	平成24年4月	化学	担当者変更(24)
兼任	教授	山本 健治 (62)	平成23年4月	物理学	兼任	教授	山本 健治 (64)	平成23年4月	物理学	
兼任	教授	猪木原 孝二 (52)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	教授	猪木原 孝二 (54)	平成23年4月	保健体育概論	
兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	
					兼任	教授	児島 塊太郎 (65)	平成24年4月	倉敷まちづくり基礎論	担当者変更(24)
兼任	准教授	水田 直美 (45)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語	兼任	准教授	水田 直美 (47)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語 キャリア・ラーニング	担当科目追加(24)
兼任	准教授	柳田 宏治 (51)	平成23年4月	ユニバーサルデザイン論	兼任	准教授	柳田 宏治 (53)	平成23年4月	ユニバーサルデザイン論	
兼任	准教授	江原 雅江 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ	兼任	准教授	江原 雅江 (43)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ 文学	担当科目追加(25)
兼任	准教授	大野 英志 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ビジネス英語	兼任	准教授	大野 英志 (43)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ビジネス英語 キャリア・ラーニング	担当者調整のため(23) 担当科目追加(23)
					兼任	講師	紀本 明宏 (69)	平成24年4月	ビジネス英語	担当者変更(24)
					専任	教授	中川 重和 (49)	平成25年4月	キャリア・ラーニング	担当者変更(25)
兼任	准教授	加藤 敬史 (43)	平成23年4月	地球科学	兼任	准教授	加藤 敬史 (45)	平成23年4月	地球科学 芸術と科学の協調	担当科目追加(23)
兼任	准教授	荒木 直彦 (43)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	准教授	荒木 直彦 (45)	平成23年4月	保健体育概論	
					兼任	講師	飯田 智行 (34)	平成24年4月	保健体育概論	担当者変更(24)
兼任	講師	経遠 雄三 (62)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	経遠 雄三 (64)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	体調不良のため(23) 担当者変更(24)
					兼任	講師	高原 皓全 (28)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ	担当科目調整のため(23)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	芦田 雅子 (51)	平成23年4月	海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ 海外事情Ⅲ 海外事情Ⅳ	兼任	講師	芦田 雅子 (53)	平成23年4月	海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ 国際地域論Ⅱ(アジア) 海外事情Ⅲ 海外事情Ⅳ 国際地域論Ⅳ(アメリカ) 旅行危機管理概論	国際地域論Ⅱ(アジア)と授業内容を統合したため廃止(24) 科目名称変更(24) 科目名称を国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ)へ変更(24) 科目名称を国際地域論Ⅳ(アメリカ)へ変更(24) 教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)
					専任	教授	渡辺 肇 (69)	平成24年4月	国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ)	担当者変更(24)
兼任	講師	枝松 千尋 (37)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師 准教授	枝松 千尋 (39)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	昇格のため(24)
兼任	助教	大杉 忠則 (34)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	兼任	助教	大杉 忠則 (35)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	
					兼任	講師	黒田 明雄 (58)	平成25年4月	人生と仕事Ⅰ	担当者変更(25)
兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	退職のため(23) 担当者複数のため支障なし
兼任	講師	津野熊 総一郎 (62)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	津野熊 総一郎 (64)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ キャリア・ラーニング	担当科目追加(23) 担当科目調整のため(24)
兼任	講師	杉山 宣彦 (59)	平成23年4月	基本化学	兼任	講師	杉山 宣彦 (61)	平成23年4月	基本化学 化学	担当科目追加(24)
兼任	講師	岡本 宏 (59)	平成23年4月	基本数学	兼任	講師	岡本 宏 (61)	平成23年4月	基本数学 数学	担当科目追加(24)
兼任	講師	足守 浩 (59)	平成23年4月	日本国憲法	兼任	講師	足守 浩 (61)	平成23年4月	日本国憲法	
兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	
					兼任	講師	久米 大祐 (27)	平成24年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	担当者変更(24) 担当者変更(24)
					兼任	講師	石田 博也 (34)	平成25年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	担当者変更(25) 担当者変更(25)
兼任	講師	犬飼 義秀 (58)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	犬飼 義秀 (60)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	
兼任	講師	小西 通雄 (81)	平成23年4月	マスコミ論	兼任	講師	小西 通雄 (83)	平成23年4月	マスコミ論	
兼任	講師	角 光義 (58)	平成23年4月	物理学 基本物理	兼任	講師	角 光義 (60)	平成23年4月	物理学 基本物理	
兼任	講師	中原 靖之 (64)	平成23年4月	世界と日本	兼任	講師	中原 靖之 (66)	平成23年4月	世界と日本	
兼任	講師	中村 道一 (41)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	兼任	講師	中村 道一 (43)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	
兼任	講師	藤間 友 (70)	平成23年4月	日本の伝統芸能	兼任	講師	藤間 友 (71)	平成23年4月	日本の伝統芸能	
					兼任	講師	吾妻 寛穂 (65)	平成25年4月	日本の伝統芸能	担当者変更(25)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	加納 直子 (38)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	加納 直子 (40)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II 文章表現法	担当科目追加 (25)
					兼任	講師	桑原 直子 (40)	平成25年4月	日本語会話 I 日本語会話 II	担当者変更 (25) 担当者変更 (25)
兼任	講師	児玉 正子 (60)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	児玉 正子 (62)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II 実践日本語	担当科目追加 (23)
					兼任	講師	桑原 直子 (40)	平成25年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更 (25) 担当者変更 (25)
兼任	講師	禹 暁瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	兼任	講師	禹 暁瑩 (39)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	
兼任	講師	甲元 孝朋 (70)	平成23年4月	地域金融産業論	兼任	講師	甲元 孝朋 (72)	平成23年4月	地域金融産業論	
兼任	講師	田路 慧 (73)	平成23年4月	西洋思想概論	兼任	講師	田路 慧 (75)	平成23年4月	西洋思想概論	
兼任	講師	平野 聖 (57)	平成23年4月	知的財産権	兼任	講師	平野 聖 (59)	平成23年4月	知的財産権	
兼任	講師	支 洪涛 (45)	平成23年4月	実践日本語	兼任	講師	支 洪涛 (45)	平成23年4月	実践日本語	
					兼任	講師	児玉 正子 (62)	平成23年4月	実践日本語	担当者変更 (23)
兼任	講師	片山 善行 (73)	平成23年4月	経営戦略論	兼任	講師	片山 善行 (73)	平成23年4月	経営戦略論	
					兼任	講師	紀本 明宏 (69)	平成24年4月	経営戦略論	担当者変更 (24)
兼任	講師	森 喬 (71)	平成23年4月	観光社会学	兼任	講師	森 喬 (73)	平成23年4月	観光社会学	
					兼任	教授	古川 敏紀 (64)	平成23年4月	動物入門(生き物を科学する) 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当科目追加 (23) 教育課程の充実を図るため、科目を追加 (25)
					兼任	教授	濱家 輝雄 (65)	平成24年4月	放送概論 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、科目を追加 (24) 教育課程の充実を図るため、科目を追加 (25)
					兼任	教授	大野 英治 (65)	平成24年4月	医療入門(生き物を科学する) 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、科目を追加 (24) 教育課程の充実を図るため、科目を追加 (25)
					兼任	准教授	馬場 始三 (47)	平成24年4月	情報ネットワーク概論	科目担当者追加 (24)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	飯田 智行 (34)	平成24年4月	保健体育概論	担当者追加(24)
					兼任	講師	河 智弘 (42)	平成24年4月	ハングルⅠ ハングルⅡ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)
					兼任	講師	太田 陽子 (44)	平成24年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)
					兼任	講師	岡本 直樹 (68)	平成24年4月	サービス産業論 消費者行動論	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)
					兼任	講師	松村 麻太 (42)	平成25年4月	現代の美術	担当者追加(25)
					兼任	教授	家住 利男 (60)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
					兼任	教授	大林 誠 (62)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
					兼任	教授	奥本 寛 (59)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
					兼任	教授	浅川 富美雪 (67)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
12	1	0	0	13	13	0	0	0	13	65	1
(18)	(1)	()	()	(19)	[+1]	[△1]	[]	[]	[]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	足立 邦夫	定年による退職
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職により、学生への教育に支障がないように、同一分野の他の教員又は、非常勤講師を採用し、教育を行う。後任者の担当科目については、シラバス、時間割等に記載し、さらに、オリエンテーションを行うことにより、周知徹底を図る。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (23年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (24年5月)	生命科学部健康医療学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	定員充足に向け来年度以降、入学定員の確保が行えるよう、説明会・高校訪問・出張講義・オープンキャンパス等、学科の周知に努め、入学定員確保が行えるよう努めてまいります。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	生命科学部健康医療学科, 千葉科学大学薬学部生命薬科学科, 危機管理学部航空・輸送安全学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	入学定員確保に向けて次のような対策をとった。 オープンキャンパス・高校訪問・説明会等で、学科を分かりやすく紹介する工夫を行い、その結果、オープンキャンパス参加者では、平成23年度に31名だったのが、平成24年度では36名に増加し、資料請求では、平成23年度507件だったのが、平成24年度では672件と増加した。	・学生に対する就職支援に力をいれ、安心して入学出来る体制を確立し、入学生確保に努める。 ・今後、健康医療学科を含む大学全体の学部組織を、より魅力のある学部学科に改編するよう検討している。 対応完了予定時期 平成26年度内
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

倉敷芸術科学大学教育研究推進委員会規定 (添付)

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

平成24年度

第1回教育研究推進委員会	平成24年	5月23日(水)	参加20名
第2回教育研究推進委員会	平成24年	7月25日(水)	参加25名
第3回教育研究推進委員会	平成24年	9月11日(火)	参加20名
第4回教育研究推進委員会	平成24年	10月31日(水)	参加23名
第5回教育研究推進委員会	平成25年	1月30日(水)	参加24名

c 委員会の審議事項等

主な議題: 委員長・副委員長選出について

到達目標について

平成24年度FD講演会について

授業アンケートについて

学生満足度アンケートについて

授業公開について

平成25年FD・SDについて

学内共同研究について

教育研究推進委員会の最終検証について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート
- ・ 授業公開
- ・ FD講演会

b 実施方法

- ・ 授業アンケート・・・前期後期定期試験前原則として全授業科目を対象として実施
- ・ 授業公開・・・授業アンケートにおいて、高評価の教員を公開授業の対象とし、後期に1週間実施
- ・ FD講演会・・・年間3回程度、外部講師や学内の教員による講演会を実施

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 授業アンケート・・・全教員を対象に前期、後期各1回実施
 - ・ 授業公開・・・・・・・・・・後期に1週間各学科1名程度の教員を対象に実施するが、聴講希望者は数名にとどまる
 - ・ FD講演会・・・・・・・・・・年間3回程度実施している。40～50名程度の教職員が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）について、全学的に行っている活動における授業改善への方法は、次のように行われている。まず授業アンケートでは、各項目の各人の評価点数（5段階評価）と学部全体の評価点を比較できるようフィードバックし、全体における評価に対し、各人が担当する科目の評価点数を比較することで、改善の余地がある項目について確認できる仕組みとなっている。これにより、ここの担当教員が改善を行うこととしている。また、アンケートには自由記述欄を設けており、学生からの具体的な指摘を受けた内容について、必要に応じて改善を加えている。また、問題点が大きい場合は、当該学部長を交え改善について注意を促すこととしている。

アンケート内容や実施方法については、教育研究推進委員会にて現状確認を行い、改善の必要があれば議論し改善を行っている。

授業公開、FD講演会では、参加した教員がそれぞれの着眼点で授業改善に有効となる発想を見つけ改善に取り組んでいる。

また、学科においても体系的なカリキュラムを構築し、学科で必須の分野に関する科目のリメディアル教育を充実させ、ITやメディア教材を活用し学生の理解度を上げる工夫を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無・・・有

実施時期・・・前期授業（平成24年7月12日（木）～平成24年7月25日（水））

後期授業（平成25年1月21日（月）～平成25年2月1日（金））

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内において授業評価アンケートを閲覧出来る場所を設置し、各授業評価アンケート結果データを紙ファイルにて公開を行っている。また、大学ホームページ上においても学科毎の授業評価アンケート結果を電子データにて公開を行い授業の改善に役立てている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営情報学科の趣旨・目的の達成状況については、4年間の学士課程教育を終えた時点での評価を待たざるを得ないが、趣旨・目的を達成させるために教育研究活動や管理運営組織等を点検評価する体制を整えている。具体的には、本学では当該年度の活動を点検評価した結果をまとめたFD活動年次報告書を刊行している。経営情報学科でも、各年度の活動を、公益財団法人大学基準協会の定めた大学基準（評価項目）に沿って、例えば「1. 理念・目的」では、PDCAサイクルに基づいて、「目標」、「現状」、「点検・評価」、「改善・改革方策」の順に確認して、その結果を上述の報告書に記載することとしている。

このような点検評価体制により、経営情報学科の趣旨・目的の達成に向けて、今後も引き続き設置計画を確実に履行するとともに、学士課程教育にふさわしい教育研究水準の維持・向上に努める所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・原則として毎年公開

b 公表方法

・報告書を作成し、近隣大学等に配布

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成23年4月大学基準に適合していると認定された。（認定期間：H23.4.1～H30.3.31）
認定期間が終了する前に、評価期間の評価を受ける予定である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成25年度内公開予定)